

シンガポールメンタルヘルスネットワーク の活動について



2020年10月3日（土）

第1回 JAMSNET メンタルヘルスネットワーク世界会議

日暮真由美（医師・当会代表）、原田舞香（臨床心理士・公認心理師 当会事務局）

当地について

- ▶ 人口：約570万人（2019年9月時点）
- ▶ 在留邦人：約3万6千人（2019年度
海外在留邦人数調査統計より）
- ▶ 日本語で受診出来、心理職が在籍する精神科・心療内科：2か所
一部の日系クリニック総合診療科でもメンタルヘルス相談を受けることが出来る。

日本人心理職による個人開業の相談室：およそ4か所（2020年9月末、事務局調査）

日本人学校3校（小学校2校、中学校1校）、日系私立高校1校にスクールカウンセラーが在籍。日系幼稚園の一部に在籍。



これまでの活動

- ▶ 前身：2000年代前半にあった。
- ▶ 2019年1月 設立準備開始
- ▶ 2019年7月1日 設立（メンバー数11名）
- ▶ 2019年9月 第1回懇親会（10名参加）
- ▶ 2019年11月 第6回ジャムズネット・ワールド大会が当地で開催
- ▶ 2019年12月 会則の制定
- ▶ 2020年4,5月 当地コミュニティやフリーペーパーへの情報提供
- ▶ 2020年5月 第1回オンライン交流会（12名参加）相互の自己紹介、近況の報告
- ▶ 2020年5月 UMIN メーリングリスト運用開始
- ▶ 2020年8月 第2回オンライン交流会（13名参加） COVID-19流行以降の子ども達の状況について

2018年PFA研修会



COVID-19の
流行

当会の目的

（１）在星邦人のメンタルヘルスに関わる専門家が、勤務先・職種の垣根を超え、ネットワークを作り、非常時には一丸となって支援に取り組む。

（２）在星邦人に対するメンタルヘルスサポートに関する情報交換・知識の相互研鑽を行う。

（３）上記の活動を通して、在星邦人の心身の健康に寄与する。

☆当地邦人社会に大きく影響を及ぼすような事件・事故が起こった際の支援活動に備えることを想定。



入会基準

原則以下3点に該当する方。

- ▶ メンタルヘルス関連専門職で在職中である（精神科・心療内科医師、公認心理師、その他医療専門職）。
- ▶ 国家資格もしくはそれに準じた資格（資格試験及び更新制度があり、倫理綱領の定めのあるメンタルヘルス専門職としての資格、例えば臨床心理士等）を持つ。
- ▶ 入会申込時点にて、ジャムズネット・アジア及びジャムズネット・シンガポールの会員である方

+ メンバー1名の推薦

※一部該当しない方でも、役員による審査及びその他メンバー間の協議により入会して頂いている場合もある。

当会メンバーの現況

- ▶ 医師4名、心理職12名、その他（ソーシャルワーカー、言語聴覚士）2名 合計18名が在籍（2020年9月末現在）。
- ▶ 内、独立開業しているメンバー 5名
（相談室3名、コンサルティング業2名）

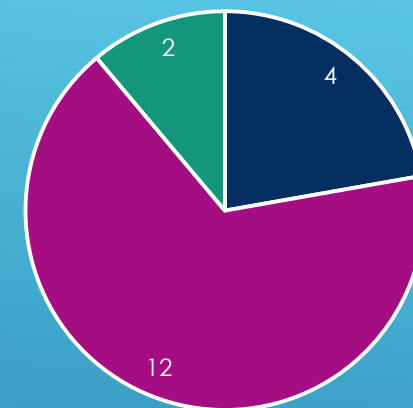
▶ メンバーの取得資格（一部抜粋）

医師、公認心理師、臨床心理士、言語聴覚士、臨床発達心理士、社会福祉士、保育士、認定産業医、産業カウンセラー、小学校教諭、幼稚園教諭

当地を含めた海外のカウンセラー・ソーシャルワーカー資格

海外を含めた心理学修士、博士、等。

図：メンバー内訳



■ 医師 ■ 心理職 ■ その他 (SW, ST)

シンガポールメンタルヘルスネットワークの特徴

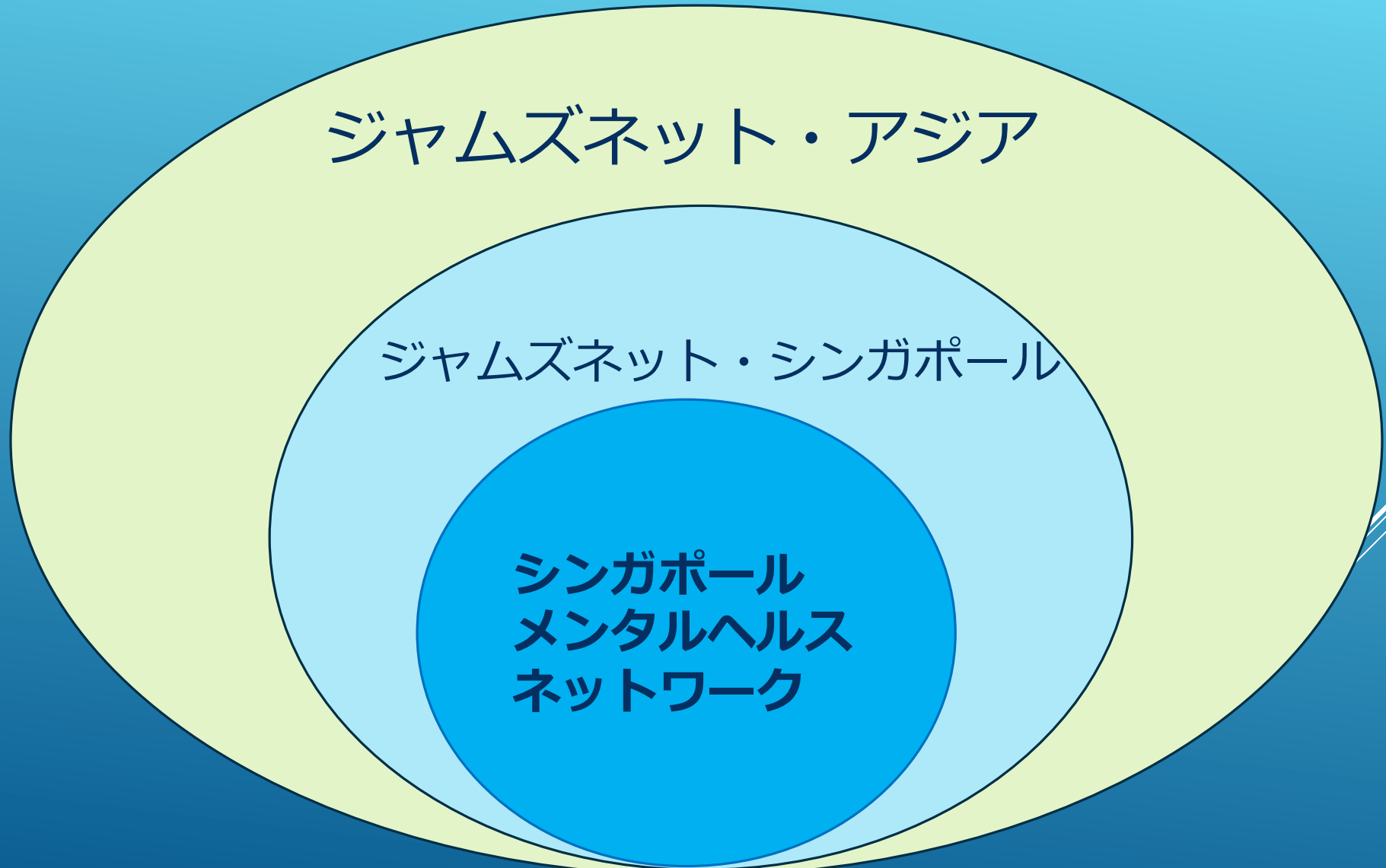
- ▶ 職場間・職種間の垣根を超えたグループ
- ▶ クローズドのグループ
- ▶ **お子様連れ歓迎！**

各メンタルヘルスネットワーク・
各ジャムズネットとの連携



2019年9月 第1回懇親会より

各ジャムズネットと シンガポールメンタルヘルスネットワーク



連携団体：シンガポール日本人心理士会

- ▶ 2018年6月に設立（発起人・代表：相賀心理士）
- ▶ 月1回のペースで会員間の勉強会や、情報交換が行われている。
- ▶ 2019年11月 第6回ジャムズネットワールド大会にて「イライラをどうコントロールするか」発表を行った（当時、メンバー全員の個人名義）
- ▶ 2020年5月 FACEBOOKページを開設
在星邦人向けに心理専門職として有益と思われる情報を提供。
- ▶ 公認心理師所持するメンバー6名（2020年9月末現在）。



今後の活動目標・課題

1. 会員間相互の、定期的な交流・研鑽の機会を持つ（年2～3回程度）
2. 他団体との連携（各ジャムズネット,各メンタルヘルスネットワーク）
3. 当地日本人コミュニティとの連携
4. 大使館との連携を目指し、非常時に備える（当地は医務官不在のため）
5. 将来的には広く在星邦人を対象にした支援・情報発信・研修機会の提供



まずは会の長期的な継続を目指す

メンバーの多く
が子育て中であ
ることの限界



ご清聴有難うございました